

NIC のペアリングはいつ設定されますか、またどのような条件でフェールオーバーをトリガーしますか。

目次

[概要](#)

[NIC のペアリングはいつ設定されますか、またどのような条件でフェールオーバーをトリガーしますか。](#)

[NIC 組み合わせアラートの例](#)

概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のフェールオーバーを引き起こす状態および Network Interface Cards (NIC) 組み合わせを記述したものです。

NIC のペアリングはいつ設定されますか、またどのような条件でフェールオーバーをトリガーしますか。

注: NIC 組み合わせはバーチャル ESA のサポートされる機能ではありません。 NIC 組み合わせは 2 つの物理 データ ポートでだけ設定することができます。

NIC 組み合わせは ESA ユーザがプライマリ NIC にバックアップとして 1 NIC を使用することを可能にします。 NIC 組み合わせに関する詳細については、GUI からのアプライアンスの AsyncOS については章 [Network Interface Cards 組み合わせるか](#)、またはオンライン ヘルプがユーザガイドで[団結すること](#)を見て下さい (ヘルプおよびサポート >Online ヘルプ)。

NIC 組み合わせが初期化する場合、ESA は MAC アドレスはアップデートされたことネットワークを知らせる[無償ARP](#)をブロードキャストします。 プライマリ イーサネットインターフェイスへの接続が失われる場合、ESA はバックアップ イーサネットインターフェイスに失敗し、アラートは自動的に発信されます。 厳密には、NIC 組み合わせはインターフェイスの IFMEDIA 場合を監察します。 その場合が何らかの理由で失われる場合、フェールオーバーは発生します。

NIC 組み合わせアラートの例

Cisco ESA はアラート 通知を送信するために設定することができます。 NIC 組み合わせは使用されるときアラートを受け取るために、インターフェイスが失敗するときよくあります。 2 つのアラートは生成されます:

```
Port Data 1 failure, switching to Data 2
Recovered network using port Data 2
```

いくつかのスイッチにより時折 ESA は失敗します。 これが頻繁に起こり、物理接続またはスイッチにおいての問題がなければ場合、ESA およびスイッチ両方の速度 および デュプレックス設定自体を確認する理にかなうかもしれません。